

都立青山特別支援学校（港区・渋谷区・目黒区センター校）

特別支援教育センター的機能通信 No.9（通巻 No.84）

つなぐ

令和 7年 2月 3日(月)

都立青山特別支援学校校長	中澤 将人
相談支援部主任	中村 尚子
文責	中畑 絵里
	斎須 依恵

「関係支援機関連絡会」を実施しました

12月17日（火）の午前中、35ヶ所の放課後等デイサービス、学童保育クラブ等の関係支援機関の職員の方々が本校を訪れました。

前半は、校内見学を行い、授業の様子や校内環境について説明をしました。児童・生徒の学習の様子や教員の指導について、関心深い様子でした。後半は、発達段階の違う子供たち（障害の程度に幅がある集団や定期発達児と共存する集団など）と一緒に活動する時の課題や工夫、支援が難しい子供への対応の2つのテーマについて情報交換をしました。「順番を守っておもちゃを借りられるように、表にして全員がわかるようにしている」「縦割り班にし、グループで協力できるようにしている」等、参加者同士で実践している工夫や対応等を伝え合う時間となりました。

連絡会後は、「実際の授業の様子を見られて、視覚的支援を行う等し、児童・生徒がわかるように工夫していることがわかった」「他機関の話聞いたことで具体的な支援方法を知ることができ、施設に戻って実践してみようと思った。」等の感想が寄せられました。

今後も、関係支援機関と学校が連携を深め、よりよい支援につなげていきたいと思えます。



「めぐろの子どもたち展」に参加しました

1月18日（土）から2月2日（日）まで目黒区美術館にて、目黒区立幼稚園・こども園、小・中学校の連合展覧会が開催されました。目黒区立の小・中学校で副籍交流を行っている本校の児童・生徒の作品も出展し、階段を上ってすぐの2階展示ロビーに、展示していただきました。どの作品も、児童・生徒が自由に楽しく作成したことが伝わる展示となりました。

区内の保護者や、関係機関の皆様、そして子どもたちにも、本校の存在を再認識するとともに、日頃の豊かな表現活動の学習の成果を鑑賞していただけたのではないかと思います。また、区立校の図工・美術・書写等の作品も、個々の魅力が溢れており、想いが伝わってくる素晴らしいものでした。

今後も、目黒区と連携を取り合い、子供たちの地域生活が安心して充実したものになるよう取り組んで参ります。

